

整理番号 01410

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）	Lecosorb レコソープ
販売者情報	会社 LECO ジャパン合同会社 住所 〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号 住友不動産芝ビル4号館
製造者情報	担当 SDS 担当者 電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801 会社 LECO Corporation 住所 3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.
緊急時電話番号	Chemtrec Int'l 703-527-3887

2. 危険有害性の要約

GHS 分類（水酸化ナトリウム）

- 物理化学的有害性 : 分類基準に該当しない
- 健康に対する有害性 : 皮膚腐食、刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性、刺激性 区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1(呼吸器)
- 環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) 区分 3

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。重篤な眼の損傷。呼吸器の障害。
水生生物に有害。

注意書き

安全対策： 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取扱後はよく手を洗うこと。適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。

応急措置： 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は直ちに医師に連絡すること。ばく露した場合、医師に連絡すること。

保管： 施錠して保管すること。

廃棄： 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理専門業者に業務委託すること。

本製品は毒物及び劇物取締法による劇物

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	水酸化ナトリウム	非繊維状ケイ酸塩
成分及び含有量(wt%) *	90-95	5-10
化学式又は構造式	NaOH	SiO ₂
官報公示整理番号		
化審法	1-410	
安衛法	通知対象物 319	非通知対象物
PRTR 法	対象外	対象外
CAS No.	1310-73-2	1318-00-9
国連番号及び国連分類	1823 クラス 8 等級 II	

* 特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています。

4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸入した場合、すぐに新鮮な空気のある場所へ移動させる。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
皮膚に付着した場合	多量の水、石鹼ですぐに洗い流す。すぐに医療機関に連絡する。汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流し、15分以上続ける。コンタクトレンズを着用して外せるようなら外す。すぐに医療機関に連絡する。
飲み込んだ場合	すぐに医療機関に連絡する。水で口をよくすすぐ。無理に吐かせない。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状	眼や皮膚への刺激、炎症。一時的な気道の不快感。

医師に対する特別な 注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。 薬傷：すぐに水で洗い流す。すすぎの間に接触場所以外の、付着していない衣類があれば取り除く。救急車を呼ぶ。搬送中もすすぎを継続する。被害者をあたたかくし、目を離さないこと。症状が後から出る場合がある。
その他の情報	医療スタッフが物質についての知識があること、スタッフの保護措置にも気を付けさせる。この安全データシートを担当医に見せる。

5. 火災時の措置

消火剤	泡。CO ₂ 。ドライケミカル消火器。
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特有の危険有害性	水に直接接触すると激しい発熱反応を起こす。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
特有の消火方法	未開封の製品を冷やすには水スプレーを使用する。
特別な手法	他の燃焼物を考慮した通常の消火方法を用いる。
一般的な火災危険	異常な火災や爆発は起こらない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。漏えい場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。可燃物等に近づけない。清掃中は適切な保護衣を着用すること。ダストを吸入しない。換気をよくする。流出が激しく回収が困難な場合は現地当局に通告する。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	ダストの発生を防ぐ。酸で中和する。掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。環境への放出をさせない。
環境に対する注意事項	安全であれば、さらなる流出を防ぐ。環境へ放出されることを防ぐ。排水、水路、地面への流出を防ぐ。すべての環境への流出については適切な地方行政へ報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストを吸入しない。眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。長時間暴露しないようにする。この製品の取り扱い中は飲食、喫煙をしない。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。環境へ放出しない。
安全な保管条件	鍵をかけて保管する。製品の入っていた容器のまま密閉して保管する。換気の良い場所に保管する。混触危険物に近づけない（第10項を参照）。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

物質	タイプ	値
LECOSORB	PEL	2 mg/m ³
成分	タイプ	値
水酸化ナトリウム (CAS 1310-73-2)	PEL	2 mg/m ³

US. ACGIH Threshold Limit Values

物質	タイプ	値
LECOSORB	Ceiling	2 mg/m ³
成分	タイプ	値
水酸化ナトリウム (CAS 1310-73-2)	Ceiling	2 mg/m ³

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

物質	タイプ	値
LECOSORB	Ceiling	2 mg/m ³
成分	タイプ	値
水酸化ナトリウム (CAS 1310-73-2)	Ceiling	2 mg/m ³

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

取扱い、熱加工などで発生するダストやフュームを効果的に取り除き、蓄積を防ぐために十分な換気を行う。設備対策によってダスト濃度を許容濃度以下に抑えることが難しい場合は、適切な呼吸保護具を着用する。

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。緊急アイシャワーと緊急シャワーを備えること。

皮膚の保護

手

適切な耐薬品グローブを着用する。

その他

適切な耐薬品保護衣を着用する。耐水性エプロンなどが推奨される。

呼吸器の保護

ダストが許容濃度を超える恐れがある場合、認証済みの呼吸器を使用する。

熱的危険

必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項

常に手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	固体
形状	粒状
色	褐色
臭い	入手不可
臭気限界	入手不可
pH	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点、初留点と沸騰範囲	1388°C@760mmHg 推定
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	水溶性
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	
爆発性状	爆発性はない
密度	2.13g/cm ³ 推定

10. 安定性及び反応性

反応性	強酸と激しく反応する。酸化剤と反応することがある。
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない
避けるべき条件	他の化学品と混ぜない。ダストの拡散を防ぐ（圧縮空気やダストを吹き飛ばすなど）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	アルミニウム、水、強酸、亜鉛、スズ
有害な分解生成物	空気にさらされると水と炭酸塩を発生する。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的に暴露すると有害な場合がある。
皮膚	重篤な薬傷を起こす。皮膚に接触すると有害。
眼	重篤な眼の損傷を引き起こす
飲み込んだ場合	消化管の薬傷を起こす。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	焼けるような痛みと重篤な皮膚の損傷。重篤な眼刺激。ダストが気道、皮膚、目への刺激を起こすことがある。刺すような痛み、涙、発赤、腫れ、視野のぼやけなどの症状。失明を含む永久的な眼への損傷。

毒物学的影響

急性毒性	皮膚への接触は有害
皮膚の腐食/刺激	重篤な皮膚の薬傷、目の損傷を起こす
重篤な眼の損傷/眼刺激	重篤な眼の損傷を引き起こす
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可
慢性影響	長期的に吸入すると有害

12. 環境影響情報

生態毒性

製品		種	結果
LECOSORB			
水生			
Crustacea	EC50	Daphnia	37.3746 mg/l, 48 時間推定
Fish	LC50	Fish	135.1351 mg/l, 96 時間推定

成分	種	結果
水酸化ナトリウム (CAS 1310-73-2)		
水生		
Crustacea	EC50	Water flea (Ceriodaphnia dubia) 34.59-47.13 mg/l, 48 時間
Fish	LC50	Western mosquitofish 125 mg/l, 96 時間 (Gambusia affinis)
残留性/分解性		知られていない。
生態蓄積性		データなし
土壌中の移動性		データなし
その他の有害影響		この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

DOT

UN 番号	UN1823
UN 正式品名	水酸化ナトリウム、固体
分類	
等級	8
副次危険性等級	-
ラベル	8
容器等級	II
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IATA

UN 番号	UN1823
UN 正式品名	水酸化ナトリウム、固体
分類	
等級	8
副次危険性等級	-

容器等級 II
 ERG コード 8L
 使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IMDG

UN 番号 UN1823
 UN 正式品名 水酸化ナトリウム、固体
 分類
 等級 8
 副次危険性等級 -
 容器等級 II
 使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

DOT



IATA:IMDG



15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	劇物：指定令第 2 条 68 水酸化ナトリウムを含有する製剤。 ただし、水酸化ナトリウム 5%以下を含有するものを除く。
労働安全衛生法	施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物) 319
消防法	非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
国連番号	1823 (水酸化ナトリウム、固体) クラス 8、等級 II
IMDG	クラス 8 等級 II
船舶安全法	危規則第 2 腐食性物質
航空法	施行規則第 194 条腐食性物質
港則法	規則第 12 条危険物(腐食性物質)

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(071415) : LECO Corporation
 JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
 作業場内の表示および安全データシート
 化学便覧 : 丸善
 職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
 NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成 : 平成 9 年 4 月 1 日

改訂 : 平成 21 年 10 月 13 日 (書式改訂)

 平成 22 年 3 月 4 日 (法令見直し)

 平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

 平成 24 年 6 月 22 日 (法令見直し)

 平成 27 年 11 月 30 日 (書式、法令見直し)

 平成 28 年 5 月 13 日 (法令見直し)

 平成 28 年 8 月 2 日 (内容見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。